

—「海江田 健先生を偲ぶ追悼文」特集 —

海江田 健先生を偲んで

東区・荒田支部
(有馬・藤島内科医院) 有馬 義孝

海江田 健先生は泰然自若として、ある時は静逸であったが、ある時は、まれにみると活動的であった。

健先生とは、鹿児島大学医学部第二外科教室で机を並べて学んだ。並べて、とは云え、健先生は三年ないし四年先輩であった。

当時の第二外科教室は、秋田八年先生が教室を主宰されておられ、香月武人先生、西村基先生、中島泰弘先生、猪島康公先生らの先輩が牽引しておられたように思う。

この教室では、早朝、始業前、午前8時前より抄読会があり、教室の研究テーマに関連する国外医学雑誌からの文献が紹介されていた。

抄読会のテーマは、肝疾患、門脈圧亢進症、胆道疾患、胆汁に関する生化学的研究などであり、それに加えて心臓グループによる先天性心疾患の治療（人工心肺装置の適応など）についても討議、討論がくり返された。

ある時は、甲突川五大石橋のひとつ、高麗橋の写真を、海江田先輩に見ていただいたこともあった。この写真は、先輩がお出かけになった学会（確か、九州管内の学会と記憶している）のスライドの一枚として役に立ったと記憶している。

6月末にご寄稿いただきましたが、編集の都合上、8号に掲載させていただきました。（編集委員会）